

第1部

- ♪ **春、芽吹きするとき** 春畑 セロリ
どこかで春が
春よこい
春の小川
花
おぼろ月夜
- ♪ **おちゃらか** 野田 雅巳
- ♪ **わらべ歌春秋** 千秋 次郎
- ♪ **組曲「会話」** 三善 晃
やさしいお話
よかったね、あれ・・・を何回も
いつまでもくやしい
生返事ばかり
つじつまのあわない報告
- ♪ **冬は暖炉のそばで** 春畑 セロリ
冬景色
雪
おおさむこさむ
冬の夜
ペチカ

第2部

- ♪ **子供の情景より** F. モンポウ
街通りの叫び声
庭の娘たち
- ♪ **子供部屋 1 より** D. アンゲルプレシュト
お父さん
牧歌
塀の上のめんどり
ぼくの城
田園詩
凧上げしたよ
- ♪ **子守歌 op.57** F. ショパン
- ♪ **トロイメライ (夢)** R. シューマン
- ♪ **組曲「くるみ割り人形」** P. チャイコフスキー
小序曲
行進曲
こんべい糖の踊り
あし笛の踊り
花のワルツ

演奏者プロフィール

マリンバ：明瀬 由武 AKASE Yoshitake

東京芸術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業。各ラジオ・テレビに出演。ポピュラーの分野でも全国的に演奏活動を行う。NHK・FMにて新実 徳英「For Marimba」、西村 朗「ソロマリンバのための詩曲」他、数多くのマリンバ作品の初演をする。青年海外協力隊隊員として中米コスタリカに派遣される。国立音楽院ソルフェージュ科教授、国立交響楽団打楽器奏者。在任中、国立劇場をはじめ各地にてリサイタルを行う。

現在、東京・つくばをはじめ各地にて演奏活動を行っている。

1998年 CD「マリンバの贈り物～クリスマスの日～」

2007年 CD「マリンバの贈り物パート2～星降る夜に～」

ピアノ：高瀬 奈美 TAKASE Nami

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。在学中より打楽器、声楽などの共演者として活躍。

現在各地にてコンサートの企画、演奏活動を行っている。2002年よりバイオリン、フルート、声楽などのゲストを迎えて「夜想曲シリーズ」を展開。また2008年よりソロシリーズ「ピアノ叙情詩集」をスタートさせている。

2000年 CD「ソナタとインターリュード」

編曲者

水沼 寿和 MIZUNUMA Toshikazu 子供部屋 1より

織田 英子 ORITA Eiko トロイメライ、組曲「くるみ割り人形」

マリンバとピアノによる

MIXMAGIC

ミックスマジックコンサート Vol.6

～子どもと夢と音楽と～

マリンバ 明瀬 由武

ピアノ 高瀬 奈美

2015年1月24日(土) 3:00 PM

MUSICASA

主催：久守文化基金



ミックスマジックコンサート・・・・・・・・

マリンバとピアノ。どちらも鍵盤を叩いて音を鳴らす楽器。

一見ぜんぜん似ていないけれど、よく似ている楽器・・・・・・・・。

マリンバは木の響きをパイプがひろげ、ピアノは金属ワイヤーの響きを木の響板がひろげる。

あべこべのようで、実は同じよう・・・・・・・・。

あまりに、その二つの楽器は、同じような素材を使って出来ているので、時々似通った音を出してお互いを邪魔してしまう。

なかなか合わせるのが難しい楽器同士でもあります。

でも、それが上手くいったときには、魔法の時が訪れます。

作曲家、編曲者、演奏者、それぞれの個性がミックスされ新しく生まれる時間を、聴きにいらして下さった皆様と共に楽しみたい・・・・。

そんな想いからミックスマジックコンサートを始めました。

どうぞ、魔法の時をお楽しみください。

～今日のプログラムについて～

ミックスマジックコンサート第6回は「子どもと夢と音楽と」と題して、誰もがもっている、子どもの頃の楽しい記憶を思い出させてくれるなつかしい歌、無邪気に遊び、未来を夢見る子どもたちへ想いを寄せて作られた作品の数々をお楽しみいただきたいと思います。

第 1 部

♪ 春、芽吹きするとき

春畑 セロリ

「どこかで春が」「春よ来い」「春の小川」「花」「おぼろ月夜」

春畑セロリさんは、作曲、編曲、執筆、プロデュース、全国でのセミナーなど、精力的に活動をしている方です。

彼女に『マリンバとピアノのための四季』をお願いしたのは今から 2 年前。私（明瀬）はいつか唱歌・童謡を良いアレンジで奏きたい、とずっと思っていたのですが、依頼した時に次のような話をしました。「今年の 3、11 大震災の後、音楽家として何ができるか悩んでいる時に、NHK の昼プレで、千住真理子さんが弟さんのアレンジした曲を被災地で演奏しているという話をし、『浜辺の歌』をスタジオで奏しているのを聴いて、あーこれだ！と思った。小難しくなく、洒落た曲をたくさん書いているセロリさんにぜひお願いしたい」と。

そしてようやく、今年 4 月『冬は暖炉のそばで』7 月に『春、芽吹きするとき』が出来上がってきました。世代が違っていても、誰でもが口ずさめ、聴いて癒されるメロディーを生かしたセロリさんのアレンジをお聴きください。そして「夏」「秋」の完成も楽しみにしててください。

♪ おちゃらか

野田 雅巳（1959 ～）

野田さんは京都在住の作曲家です。マリンバリスト通崎睦美さんを通じて 98 年に知り合ってから、たくさんの曲をマリンバのためにアレンジしてもらっています。斬新な響きのするアレンジで、マリンバとピアノが格闘しているのではと思ったり、マリンバとピアノのどちらが音を出しているのかが、演奏していてもちょっとわからなくなったりする不思議な響きがします。

♪ わらべ歌春秋

千秋 次郎

千秋次郎は京都大学大学院工学部修了後 同大で助手を勤めた後作曲家に転向した方です。作品数は 400 曲近くありますが、洋楽器と邦楽器の共演作品も多く書かれています。日本全国に広く知られている「あんたがたどこさ」「かぞえうた」「ずいずいずっころばし」のわらべ歌がメドレー風になっています。「かぞえうた」では、ピアノパートから「六段」が、マリンバパートからは「かごめかごめ」が聞こえてきます。

♪ 組曲「会話」

三善 晃（1933-2013）

今でこそマリンバという楽器が知られ、マリンバの作品もたくさんありますが、私がマリンバを始めた 1960 年代にはマリンバは馴染みの薄い楽器でした。それもそのはず、マリンバは 1950 年ラクーア伝導団の伴奏楽器として日本にもたらされたのですから。1962 年に私の恩師 安倍圭子によって初演されたこの曲は、そんな中

で生まれたマリンバの古典と言っているかもしれません。この曲は、三善晃がマリンバのことに興味を持ちたいと、やはり恩師 田村拓男の家を訪ねた時の、親子の間を渡る様子からヒントを得て作曲したと言われ、三善晃は初演のプログラムに以下の文章を寄せている。

やさしいお話・・・ 今日一日なにも起こらなかった。みんなご機嫌よくていたわりの気持ちに満ちた優しい会話。・・・

よかったね、あれ.....を何回も・・・ いいことがあった。もう何度も「よかったね」をくりかえした。それでもまた、「あれ、ほんとはよかったね」

いつまでもくやしい・・・ 坊やが外から走り込んで来る。くやしいことがあった。それを言うのに、「それでね、それでね」と早口でくりかえすのだが、聞いている方にはよくわからない。

生返事ばかり・・・ いいことを話そうと思って語りかけるのだが、相手は新聞など読んで生返事ばかり。話す方が焦れても怒っても叫んでも「うーむ」と同じこと。

つじつまのあわない報告・・・ 会話はにぎやか。だが、てんでに物を言うのでどうもくいちがう。それでもいいんだ。何かかんか言っていることが楽しいんだ。

♪ 冬は暖炉のそばで 春畑 セロリ

「冬景色」「雪」「おおさむこさむ」「冬の夜」「ペチカ」
3年前、「昔きみにアレンジしてもらった曲を、コンサートで演奏してもいいですか」というメールを、高校の先輩である明瀬さんからいただいたときは、本当にびっくりしました。だって大学卒業以来まったくお会いしていませんでしたし、学生時代にマリンバの編曲をしたこともすっかり忘れていたのですから（その後「ほら証拠だよ」と、当時の自分の譜面と、仕上がりが遅くなったことを詫言する手紙を見せてもらって赤面しました。音符のクセも、締め切りに遅れる悪いクセもまったく変わっていない！）。そんなやり取りがきっかけとなって、新しく、マリンバとピアノのための作品を書かせていただくことになりました。日本のメロディーを素敵な形で、素敵な音で語り継いでいきたいという彼の意図には強く共感しました。自分が演奏できない楽器の曲を書くのはハードルが高いのですが、深く優しく暖かいマリンバの音に想いを寄せながら、そして1曲1曲、日本人らしい歌心をかみしめながら音符を綴るのは、とても楽しい作業でした。

今宵その想いを、明瀬さん、高瀬さん、そして聴いてくださる皆様に共有していただけるのが、なにより嬉しく、幸せです。

第 2 部

♪ 子供の情景より F. モンポウ (1893~1987)

「街通りの叫び声」「庭の娘たち」
モンポウ (Federico Mompou) はスペイン バルセロナ (カタルーニャ州首都) 出身の作曲家・ピアニストです。この曲は 1915 年から 1918 年まで作曲した組曲です。

「街通りの叫び声」では通りを走り回って遊ぶ子どもたちの歓声が聞こえ、「庭の娘たち」は、春の日差しの中、庭の花々を摘みながらおしゃべりに興じる少女たちの様子が、淡いパステル画のように表現された作品です。どちらもカタルーニャ民謡の「商人の娘」の旋律が使われています。

♪ 子ども部屋 1 より D. アンゲルプレシュト (1880-1965)

「お父さん」「牧歌」「塀の上のめんどり」「ぼくの城」「田園詩」「凧上げしたよ」
アンゲルプレシュト (Désiré É. Inghelbrecht) はフランスの指揮者で作曲家です。彼は子ども部屋という名前の曲集を 6 巻まで作っています。もともとこの作品はピアノ連弾のために書かれていますが、フランスの中で歌い継がれてきた子どもの歌をテーマにしているとのこと。そのうちの6曲をマリンバとピアノ用に編曲してあります。

♪ 子守歌 op.57 F. ショパン (1810~1849)

ショパン (Frédéric F. Chopin) が 1843 年の夏に、友人の幼い子どもを預かる機会があり、その時に曲想を得たと言われる作品です。左手 (I-V7) の和音の繰り返しに乗せて、メロディーが彼特有の繊細さで次々と変奏され、私たちを次第に夢見心地へと誘います。

♪ トロイメライ(夢) R. シューマン (1810-1856)

ドイツロマン派を代表する作曲家の一人シューマン (Robert A. Schumann) はたくさんさんのピアノ曲や歌曲を書いています。トロイメライ (夢) は作品 15 『子どもの情景』の第 7 曲です。シューマンのピアノ曲のほとんどは、19世紀において最も有名なピアニストの一人と言われている妻クララのために書かれたと言われています。

♪ 組曲「くるみ割り人形」 P. チャイコフスキー (1840-1893)

「小序曲」「行進曲」「こんべい糖の踊り」「あし笛の踊り」「花のワルツ」
チャイコフスキー (Peter I. Tchaikovsky) の3大バレエの一つ『くるみ割り人形』は第2幕あり、全曲 (15 曲) 演奏すると約 1 時間 25 分になります。この組曲はチャイコフスキーがそのうちの 8 曲を抜き出してオーケストラのための曲とし、特にクリスマスシーズンになると良く演奏されます。そして彼自身でピアノ曲にも編曲しています。また、ほかの作曲家の手によっても、連弾、2台ピアノ、ブラスアンサンブル等にも編曲されています。今日のマリンバ、ピアノ版は作曲家の織田英子さんが1989年に編曲したもので、5つの部分からなっています。